

科目名 Course Name	アートセラピーⅡ Art Therapy Ⅱ				ナンバリング No.	D4-007	
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	田村 田						
連絡方法	C-ラーニングで対応。または本館 3F 研究室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1、DP2、DP4						
授業の概要と 到達目標	<p>アートセラピーⅠを基礎に創造性をさらに育み、表現力を深める事で豊かな人間性の向上を図る。</p> <p>① テーマや素材を考え、アイデアを生み出す事ができるようにする。</p> <p>② 創造する過程で思考錯誤を重ね、豊かな思考力および表現力を養う。</p> <p>③ 表現する喜び、鑑賞する楽しさを身につけメンタルヘルス、ストレスケアに役立てる事ができる。</p>						
授業の方法	講義、課題にそっての造形表現、作品鑑賞を通し様々な表現方法を試みる。						
学習成果	L01						
	L02	色々な場面で自らのアイデアを形や行動へと繋げる能力が養われる。					
	L03	身につけた表現力を生かし、暖かい環境を作る事に役立つ事ができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	課題表現を発表、鑑賞しあい表現の多様性を知り、自らの作品をさらに深めて行く。						
教科書/ 参考図書	特になし。授業内で参考書籍を提示する。 (必要に応じて作成したプリントを配布する) 図書館の活用を望む。						
履修上の留意点 やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ● 制作課題等、授業に積極的に取り組む。授業の進行、他者に迷惑になる行為は禁止。材料、道具などの後片付けをする。各自の表現材料は自己負担とする。 ● 事前・事後学習に費やすべき目安は各回 45 分とする。 						
担当教員の実務 経験	● 田村田:実務経験(職種:美術教室、陶芸教室 職歴:通算 27 年) 美術教室や幼稚園、保育園等での実践事例を折り込みながら授業を行う。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	課題を理解し積極的に制作に励む。		20		
レポート/作品	オリジナルなアイデアのある表現ができている。			45	
発表	作品について適切に話す事ができる。		20		
小テスト	ワークシート(計3回)			15	
試験					
その他					
合 計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	授業内容の説明 自然と親しむ 学内の木々、葉の観察
	事前・事後学習	あらためて自然の色彩や形を通学路や校内、近所で目をむけてみる。
2	授業内容	種、根、葉、花の形を観察し、種からイメージした植物を表現
	事前・事後学習	色々な豆の色、形をスーパー等で観察、又木々の実の観察をしてみる。
3	授業内容	ペーパークラフト ① 切って、折って、貼って
	事前・事後学習	各自の制作にあたり、素材の足りない物の用意。
4	授業内容	ペーパークラフト ② 切って、折って、貼って
	事前・事後学習	各自の制作にあたり、素材の足りない物の用意。
5	授業内容	アートセラピーの実際 絵画療法を体験し、絵画からの印象を話し合う
	事前・事後学習	色や形、配色など生活の場で、心にあたえる影響に着いて述べてみる。
6	授業内容	言葉と写真によるコラージュ表現 ①
	事前・事後学習	不用な雑誌、その他の印刷物で気になる言葉や写真をさがす。
7	授業内容	言葉と写真によるコラージュ表現 ②
	事前・事後学習	言葉や写真のコラージュで足りない材料を探してくる。
8	授業内容	言葉と写真によるコラージュ表現 ③
	事前・事後学習	コラージュ技法を使って、カードやポストカードなどを作ってみる。
9	授業内容	身につける造形、アクセサリ作り ①
	事前・事後学習	事前にアクセサリの素材等を見てくる。
10	授業内容	身につける造形、アクセサリ作り ②
	事前・事後学習	作ったアクセサリを応用して身近な人にプレゼントする。
11	授業内容	空間表現について 各自の表現によるオーナメント作り
	事前・事後学習	今までの素材や表現方法を振り返り、表現したい内容を考えてくる。
12	授業内容	オーナメント作り 制作 ①
	事前・事後学習	各自の制作にあたり、材料を検討し探してくる。
13	授業内容	オーナメント作り 制作 ②
	事前・事後学習	各自の制作にあたり、素材の足りない物の用意。
14	授業内容	オーナメント作り 制作 ③
	事前・事後学習	作品提出に向かい、制作を進めてくる。
15	授業内容	作品提出 講評会 日常を彩る活用法
	事前・事後学習	表現の喜び、創意工夫、鑑賞の楽しさを今後の生活に役立てる。